

令和3年度学校自己評価システムシート (県立大宮商業高等学校 定時制課程)

目指す学校像	地域とともに未来を切り拓く、心豊かでたくましい生徒を育成する
--------	--------------------------------

重点目標	1 授業改善により、生徒の主体性を育み、学習習慣の確立と学力を定着させる 2 キャリア教育の充実により、生徒の進路意識を高め、進路実現を支援する 3 地域・保護者・外部団体との連携強化と教育活動の効果的な情報発信により、愛され信頼される学校をつくる 4 コミュニケーション能力の育成により、チャレンジ精神に溢れたたくましい人材をつくる
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	10名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p><現状> ○少人数のため、対話的な授業展開により、学びやすい環境にある。 ○主体的に学ぶことができる生徒は少ない。 <課題> ○「主体的・対話的で深い学び」となる授業実践の工夫が必要である。 ○義務教育段階で不登校を経験している生徒が多いため、基礎学力の定着、検定試験合格率向上の具体策が必要である。</p>	<p>○生徒に「主体的に学ぶ方法」を学習させ、基礎学力を定着させる。 ○各種検定試験への参加者数及び合格者数を増加させる。</p>	<p>①生徒の到達度に応じた学習支援が行えるよう、教職員全体で生徒の情報を共有し、基礎学力を定着させる。 ②日々の授業において、BYODを含めたICTを積極的に活用し、生徒が主体的に学ぶ機会を設定する。 ③実施される主な検定試験の一部を一覧にして掲示し、各種検定試験の積極的な受験を促す。</p>	<p>①各学期における欠点保有率が昨年度に比べ減少したか。(各学期10%以下であったか。) ②アンケートにおける授業満足度が年間を通して90%以上であったか。 ③検定試験の受験者や合格者が昨年度と比較して増加したか。</p>	<p>基礎学力の定着、検定試験合格者数の増加について、ほぼ目標が達成できた。 ①2学期末の欠点保有率は昨年度より若干減少。(R1:13.2%、R2:12.7%) ②アンケートにおいて、授業満足度は7月が71.4%、12月が82.8% ③漢字検定準2級1名、3級2名(R1:準2級1名、3級1名、4級以下3名)合格。英語検定3級1名合格。簿記実務検定総合1級1名、3級1名合格。簿記能力検定1級「原価計算・工業簿記」1名合格。簿記能力検定1級「商業簿記・会計学」1名合格。日本語ワープロ検定試験2級4名、準2級1名、3級7名、4級2名合格。(3月31日現在)</p>	A	<p>・補習や個別指導を充実させることにより、各学期における欠点保有率の減少だけでなく、成績優秀者数を増加させる。 ・商業関係の検定以外にも、漢字検定や英語検定の受験者数を増加させるため、検定試験のアナウンス方法を再検討し、生徒の意識を向上させる。</p>
2	<p><現状> ○主体的に進路活動を行う生徒とそうでない生徒の差がある。 ○進路実績では未定着者が減少し、昨年度は進路決定率が100%であった。 <課題> ○低学年の生徒の進路意識が低い。 ○引き続き、高い進路決定率を維持する。</p>	<p>○定期的に進路活動を行わせ、低学年から進路意識を向上させる。 ○自主的、自発的に進路活動を行わせる。</p>	<p>①定期的に進路だよりを発行する。 ②4年間を見通した進路LHRや、キャリアパスポートの活用により、生徒の進路意識を高め、自主的、自発的な進路活動につなげる。 ③適性検査等の結果を踏まえた三者面談の実施、就職支援アドバイザー等の外部の教育力を有効活用する。</p>	<p>①年間5回以上進路だよりを発行したか。 ②学年別の進路LHR、キャリアパスポートの活用を年間12回以上実施したか。 ③進路決定率が100%であるか。</p>	<p>進路活動への意識を向上、進路決定率の向上について、概ね目標が達成できた。 ①年間を通して進路だよりを発行。(2月1日現在4回) ②毎月1回の進路LHR及び各学期当初と各学期末にキャリアパスポートを活用。 ③進路決定率83.3%。(3月16日現在)</p>	B	<p>・キャリアパスポートの導入により、生徒の進路意識が向上しているかを次年度以降も継続して検証し、キャリアパスポートの活用方法や活用時期について再検討する必要がある。 ・進路決定率100%を目指し、就職支援アドバイザーと進路指導部、担任がこれまで以上に連携をし、適切な情報共有がなされるよう工夫が必要である。</p>
3	<p><現状> ○ホームページのアクセス数が伸びている。 ○学校見学の問い合わせや参加者数の増減はない。 <課題> ○本校志願者数を確保する必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、新しい形での行事の開催、保護者や地域との連携を模索する必要がある。</p>	<p>○ホームページの更新頻度を増やし、アクセス数を更に伸ばす。 ○志願者数を増加させる。 ○保護者や地域と連携できる機会を増やす。</p>	<p>①各関係分掌を中心に日頃の取組をHPに掲載し、更新頻度、アクセス数を昨年度より増加させる。 ②学校案内、生徒会だよりを活用し、中学生に対して本校の取組をPRする。 ③保護者による授業参観や行事参観を中心に、保護者が来校しやすい環境を整える。</p>	<p>①ホームページの更新数、アクセス数が昨年度と比べて増加したか。 ②学校見学希望者が昨年度より増加したか。 ③志願者が昨年度より増加したか。 ④保護者の来校機会を年間5回以上設定したか。</p>	<p>ホームページの更新数、アクセス数の増加、志願者数の増加について、概ね目標が達成できた。 ①各行事や進路状況についてホームページ更新回数(平均週5回以上)及び、新着情報案内、各種資料のまとめ等、レイアウトの工夫を実施。 ②学校説明会の参加者数は昨年度の同時期とほぼ同数。(12月31日現在10名)</p>	B	<p>・ホームページの更新頻度は向上したが、アクセス数の増加にはつながらなかった。生徒の日頃の活動を今まで以上に掲載するなどの工夫が必要である。 ・ホームページだけでなく、SNSを活用した学校案内について検討していただきたい。</p>
4	<p><現状> ○生徒は、概ね落ち着いた学校生活を送っている。 ○立哨指導、巡回指導で生徒とのコミュニケーションを深めている。 ○長期欠席者は少ない。 <課題> ○生徒が抱える悩みが多様化しており、生徒が相談しやすい体制を確立する必要がある。</p>	<p>○生徒への積極的な声かけや信頼関係づくりを行う。 ○安心・安全な学校生活を送れる環境を作り、不登校(長期欠席)を未然に防止する。</p>	<p>①日々の立哨指導や巡回指導を継続し、生徒理解を深める。 ②新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、登校前の健康観察入力、換気、消毒、黙食を徹底する。 ③不安を抱える生徒の情報を共有し、必要に応じて外部機関とも連携をする。</p>	<p>①転学者数及び退学者数が昨年度より減少したか。 ②登校前の健康観察入力状況が90%以上であるか。 ③長期欠席者数が昨年度より減少したか。</p>	<p>生徒との信頼関係作りや、登校支援について、ほぼ目標が達成できた。 ①中途退学者は1月31日現在6名。 ②登校前の健康観察入力は良好。黙食・換気等の感染防止対策も良好。 ③長期欠席者数は昨年度と同数(12月31日現在3名)。スクールカウンセラーを定期的に活用(毎月1回)することで、不登校傾向の生徒の支援を実施。</p>	A	<p>・今年度はスクールカウンセラーが授業中の生徒の様子を観察する時間を確保できなかった。教員とカウンセラーの面談を授業時間以外に設定するなどの改善が必要である。 ・引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底し、生徒、保護者が安心して登校できる環境を整える。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日 令 和 4 年 2 月 2 1 日	
学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等	
<p>・生徒が興味を持つような資格に関して普通科及び商業科に関わらず情報を提供し、より多くの生徒が資格取得に挑戦できるよう、引き続き丁寧な対応をしていただきたい。 ・授業満足度がさらに上がるよう、授業改善を進めていただきたい。 ・卒業生が学習サポーターであることは生徒にとってとても有意義であり、ぜひ継続していただきたい。 ・今年度、補習の機会が増え、とてもありがたい。ぜひ継続していただきたい。</p>	
<p>・進路への意識を高めるため、先輩の話など、マンツーマンで身近な人に相談できる機会をもてるよう検討していただきたい。 ・低学年は進路を身近にとらえることが難しいだろうが、引き続き細やかなサポートが行っていただきたい。 ・体験型の講演会や生徒同士で話し合いの場がもてるような講演会が行えるよう検討していただきたい。</p>	
<p>・ホームページは写真が多く、とてもよい。ホームページを活用した作品発表なども検討していただきたい。 ・全日制と合同の文化祭や、劇団四季の観劇など、今年度初めての試みがホームページに掲載されていた。引き続き生徒に様々な経験ができるよう取り組んでいただきたい。 ・ホームページだけでなく、SNSを活用した学校案内について検討していただきたい。 ・立哨指導時の地域への挨拶運動はとてもありがたい。継続していただきたい。</p>	
<p>・生徒一人ひとりの不安を受け止めているなど、丁寧な対応が長期欠席者減少からも見てとれる。引き続きの対応を期待したい。 ・スクールカウンセラーの活用は効果的であり継続していただきたい。 ・スクールカウンセラーの来校日を各教室に掲示することやポスターを作成することを検討していただきたい。 ・インターネットを活用したカウンセリングなどについても検討していただきたい。</p>	